



山口東京理科大学
薬学部開設についてお知らせします

●平成 30 年 4 月の薬学部開設を目指します

山口東京理科大学は、平成 28 年 4 月の公立化から、山陽小野田市立大学として第一歩を歩み始めました。

公立化については、工学部のみ単科大学ではなく、薬学部の設置に向けて取り組むこととしています。

県内医療関係者の悲願である山口県初で唯一、そして公立大学として西日本初の薬学部を設置することは、本市のみならず県内の地域活性化、医薬関連産業の発展および定住人口の増加等、自治体の抱える様々な課題の解決におおいに貢献することができ、国の進める地方創生にまさしく合致します。

薬学部の設置については、平成 30 年 4 月の開設に向けて、学校法人東京

理科大学の全面的な協力のもと、現在、国への設置認可申請手続き(平成 29 年 3 月末に提出)や、薬学部校舎等の施設整備に取り組んでいます。

なお、薬学部教員の確保については、ほぼ完了しています。



〈完成予想図〉

▲薬学部校舎完成後の山口東京理科大学

●キラリと光る薬剤師育成を目指します

平成 30 年 4 月に設置を予定している薬学部は、入学定員を 120 人とし、薬剤師免許取得が可能な 6 年制の「薬学科」となります。本学科では、全員が薬剤師免許の取得を目指すことを前提とし、その上で、臨床薬学、創薬科学、社会健康薬学の領域で活躍できる人材を育てるための質の高い薬学教育を行うことを特色とします。

特に社会健康薬学は、薬学部として日本で初めて本格的に取り組む分野で、予防医学の発展へおおいに貢献することが期待されます。

「薬学をとおして人の健康を守る」という高い志と倫理観を持ち、研究能力や研究心を有する優れた薬剤師を養成します。さらに、山陽小野田市のみならず山口県への地域貢献を大切に考える郷土愛に満ちた人材、また、臨床の場で、さらには「産・学・官」の各分野でリーダーとして活躍する人材を養成することを目的としています。

※薬学部設置については、構想中のため、変更の可能性があります。

【主な教育上の特色】

- ①医療人として高い倫理観、豊かな人間性を涵養^{かんよう}する教育の実施
- ②新しい時代の薬学に必要な情報教育、統計教育を徹底
- ③薬剤師教育の土台となる科目に関する教育(有機化学、物理化学、生化学)の徹底
- ④近隣病院の医師・薬剤師の全面的協力を得て総合医療薬学(薬理・病態・薬物治療)の講義の実施
- ⑤薬学・薬剤師を取り巻く新しい環境に対応でき、地域に貢献できる質の高い薬剤師の養成
- ⑥1年生から6年生までの6年間で薬学教育を十分に行いつつ、4年生から6年生までの3年間で全員が研究室に配属し卒業研究を行うこと

●問い合わせ先

成長戦略室 (☎82-1120)
山口東京理科大学事務部 (☎88-4505)